

1 単元構想

本単元で身に付けたい力

引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して書く力

言語活動とその特徴

環境問題について、自分のテーマに沿って資料を用いて報告する文章を書き、家族に伝える言語活動を設定している。環境問題に対する様々な取り組みの多くは家庭で実践できることが多いため、家族と共に取り組みたいと考えさせることによって児童の書くことに対する意欲が向上すると考えた。

教材の特質

教科書教材は環境問題について図表やグラフを示し、資料から分かることを中心に文章を書き、そこから考えたことを自分達の生活とどうつながるのかを考え、提案を付け加えて伝える文章となっている。教科書教材によって「文章構成・資料の効果・表現」や「どのような資料が内容に合っているか」などを学び、自分の伝えたいことに返って学習を進められる。

児童の実態

児童は、第4学年で写真や図の取り入れ方や見出しの付け方を工夫することで読み手に分かりやすく伝えることを学習している。また4月には、事実と考えを区別して文章を書く学習を行っている。
昨年12月実施の高知県学力定着状況調査の「目的に応じて、書こうとすることの中心を明確にして書く。」問題では、全国正答率53.7%の所、校内正答率は75.9%という結果であった。

指導観

第一次では学校生活や家庭生活で日頃から資源の節約について呼び掛けられている理由について考えることを糸口に環境問題について考え、自分達にできる取り組みについて発信していくという明確なゴールイメージを持たせる。
第二次では個々で文章を作成していくが、学習に応じて、似たテーマで書いている仲間同士で自分の選んだ資料や文章について相談する時間を設けるなどしながら修正・推敲させていく。仲間にアドバイスをもらいながら文章を客観視することで児童の見方・考え方はより深く働くと考え。本単元で身に付ける資料と文章を関連付けた報告文の書き方は今後の国語科だけでなく、特に社会科や総合的な学習の時間などテーマに沿って調べ、まとめていく過程で活きるスキルとなる。

2 単元の目標及び単元の評価規準

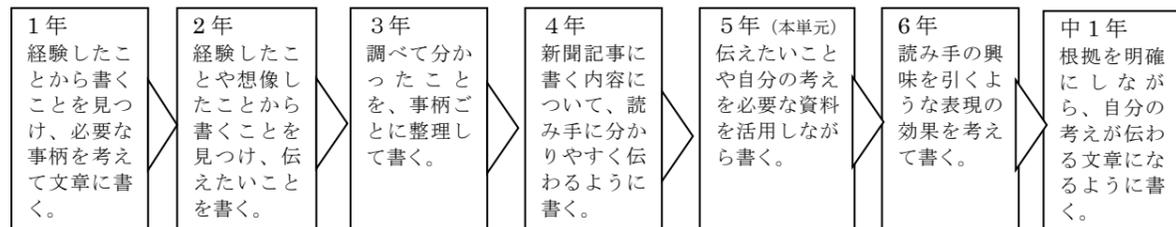
(1) 単元の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使うことができる。(2)イ	「書くこと」において、引用したり、図表やグラフを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。B(1)エ	環境問題について伝えたいことを明確にし、学習の見通しを持って粘り強く取り組むことができる。

(2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使っている。(2)イ	「書くこと」において、引用したり、図表やグラフを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。B(1)エ	環境問題について報告文を書いて伝えるために、学習の見通しを持ち、粘り強く取り組もうとしている。

3 単元の系統性



4 研究主題に迫る手立て

研究主題：目的に応じて必要な内容を整理し、自分の考えを明確にして書く力を高める学習指導の在り方
—文章の種類と特徴に応じた書き表し方の工夫—

- ・報告文を書く上で、調べたことから伝えたい事実と自分の考えを区別するために文末表現を意識したり、資料を扱う際の書き表し方を選んで書いたりすることができるようにする。
- ・資料の特性を確認したり、資料から分かることを書き出し整理したりすることで、伝えたい内容に応じた資料を選択させる。

5 学習の流れ

学習過程	主な学習内容及び学習活動	【 】評価規準・○指導上の留意点	言語活動
学習目的の理解と見通し	<p>①単元のゴールを確認するとともに、学習の見通しを持つ。地球を守るために環境問題について、生活場面を振り返る。</p>	<p>環境問題について報告文を書いて伝えるために、学習の見通しを持ち、粘り強く取り組もうとしている。 【主】</p>	<p>言葉による見方・考え方の成長 資料を活用しながら書くとどんなことが良いのかな。</p>
内容の検討・構成の検討	<p>②報告文の書き方を教科書教材で学び、自分のテーマを設定する。</p> <p>③環境問題について伝えたいことを明確にすると共に、情報収集をする。</p>	<p>○文章構成・資料の活用・文章表現など、読み手の興味を引く書き方をつかませる。 ○資料から分かることを書き出し、色付けをしたり、囲んだりしながら思考をまとめていく。 ・図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使っている。【知・技(2)イ】 ○「言葉の宝箱」を活用し、資料を基に述べる時の言葉を使わせる。 ・引用したり、図表を用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 【思・表・判B(1)エ】 ○推敲チェックリストを活用し、文章表現について確認しながら推敲させる。 ・環境問題について報告文を書いて伝えるために、粘り強く取り組もうとしている。【主】</p>	<p>円グラフはどれが多いか一目で分かるね。それぞれの資料に良さがあるんだね。</p>
	<p>④伝えたいことと資料の特性を基に、相手(家族)を意識して資料を取捨選択する。 【本時】</p> <p>⑤報告文を作成し、グループでアドバイスを交わしながら推敲する。</p> <p>⑥報告文を完成させる。</p>		<p>言葉だけでは説明しにくいことも資料を使うと伝わりやすくなるね。</p>
情報の収集	<p>⑦書いた文章を互いに評価し合い、感想を伝え合う。</p>	<p>○評価し合うことで身に付いた力を実感させるとともに、家族に伝える意欲を高める。</p>	<p>文末表現を意識すると事実と考えを書き分けることができたね。</p>
考えの形成・記述			<p>推敲チェックリストで伝わりやすい文章になっているか確認してみよう。</p>
推敲			<p>家族に伝えてプロジェクトを一緒にやっていきたいな。</p>
共有			

身近な家族に向けて、環境について考えたことを資料を用いて報告文を書く。

本単元終了時の目指す児童の姿
資料(図・表・グラフ・写真など)から分かることを整理し、考えたことが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書く力。

